

「第2次太宰府市観光推進基本計画（素案）」への意見募集（パブリック・コメント）実施結果

(1) 実施結果

意見募集期間	令和6年2月16日（金）～3月17日（日）
意見提出者数	4名(計19件)

(2) 提出された意見とその意見に対する考え方

受付	意見番号	素案該当ページ	ご意見等	計画該当ページ	ご意見への対応、回答
1	1	P1	1ページ目の下段四角囲い中、万葉集の歌集の記載があるが、「初春の令月にして～、薫ず（くんず）。」の部分につき、市HPでは「～薫らす（くゆらす）」であるが、その整合性はいかがか。また、序文中の一文の各句読点は削除した方がよい。	P1	本市のホームページ、印刷物等においては、「薫らす」で記載を統一したいと思いますので、修正いたしました。
	2	P12	近現代の表の右部分につき、東京オリンピックは1964年の開催かと思われるので修正した方がよい。	P11	記載誤りのため、「1964年」に修正いたしました。
	3	P15	2021年度の行事の表につき、9月の西鉄太宰府駅にストリートピアノ設置については、市の設置ではなく寄贈であることからその旨（寄贈による設置等）記載するなどへの短大側への配慮が必要かと思われる。	P14	ご指摘のとおり、太宰府市による設置と誤解を招く内容であったため、「寄贈による設置」の旨追記いたしました。
	4	P15	2022年度の行事表につき、市政40周年に関連し計4名の方（福田氏ほか）へ「だざいふ応援大使」の委嘱を行っているが、本制度は観光振興に直結することから表中にもその旨を記載したほうがよい。	P15	「だざいふ応援大使」の方々へは、特に国内向けの観光プロモーションやイベント等において大にお力添えをいただきたいと考えているところでございます。つきましては、表中にも追記することといたしました。
	5	P16	2023年度の行事表につき、紆余曲折や場所の変遷等があったが、数年ぶりに「大宰府政庁跡」に戻って政庁まつりが開催されたことは大変意義深いことから、表中にこれを記載した方がよい。	P15	「太宰府市民政庁まつり」が、大宰府政庁跡にて再び開催されることとなりましたことは、「本市が有する歴史や文化などの地域資源を活用していく」という本計画の目指す姿のまさに実現事例であり、またそれが市民に大いに歓迎されたことは大変意義深いことと考えます。つきましては、表中にも記載することといたしました。
	6	P23	①「数」の観光から～につき、インバウンドの部分で、突然タイをターゲットにする旨記載があるが、読み手は戸惑うため、「観光客を「新たに」ターゲットとして～」と追記する方がよい。P26や28に関連あり。	P23	これから本市が主にターゲットとしていく地域として、英語圏とアジア圏を想定しています。タイは近年福岡県も誘客に大いに力を入れている国であり、現在来訪数も大幅に増加している状況に加え、長時間滞在、高価格帯の観光消費につながりやすい体験メニューとの親和性の強い国柄として注目していることから、新たなターゲットとして誘客に力を入れていきたいと考えております。ただ、ご指摘のとおりこのページにおいて「英語圏及びタイ」と記載しますと唐突な印象を持たれることと思いますので、P23の記載については修正いたしました。
	7	P23	⑤DMOを含む～の検討に関し、「行政の補助金に依存せず～」の文言につき、対外向け（国や県に対し印象が良くない等）には適切な表記かの検討が必要。市の財源の問題もあり、自立は当然重要だが、補助金の活用なしには事業の推進が難しいのもまた事実である。P51にも国や県に対し補助支援の働きかけを行う等の文言が見受けられる。	P23	これからの持続可能な観光地づくりにおいては、自立型地域観光組織体制を構築していくことは不可欠と考えておりますが、同時に公共性の高いサービスの提供や観光地づくりには、行政と観光組織との協力・協働の体制が前提としてあると考えます。そのような視点で見たときに、ご指摘のとおり「行政の補助金に依存せず」の文言では上記の関係性を的確に表現できないと考えますので、削除することといたしました。
	8	P29	(3) 観光に対する市民意識につき、計測方法が「太宰府「市」まちづくり～調査」とあるが「市」は不要である。また、加えて、本調査結果の観光部分のみ簡単に本計画の中への記載は可能か否か。P17の様に。	P16 P21 P29	記載誤りのため、調査名称を修正しました。また、太宰府まちづくり市民意識調査につきましては、調査内容および調査結果の中身がわかるように、P17 (3) 観光客等アンケートによる分析結果の中で、調査概要及び調査結果を追加掲載いたしました。

受付	意見 番号	素案該当 ページ	ご意見等	計画該当 ページ	ご意見への対応、回答
1	9	P43	基本施策⑥部分につき、～ニーズの高い欧米豪や～とあるが、「豪」もターゲットと考えてよいか。P26や28の関連記事にその点の記載はないが、統一する方がよいのではないかな。	P43	体験メニューへのニーズが高い国や地域として、広く誘客対象としておくべきと考えておりますので、記載を「欧米豪」に統一いたしました。
	10 ～ P47	P45 ～ P47	基本戦略2に関し、計4名の「だざいふ応援大使」の活用の考えが全く見受けられないがいかか。市HPにも記載があるようにこの4名には国内外の情報や魅力を発信し、イメージアップ、観光や文化振興を図ることを目的としている旨あるが、まさしく本取り組みの適任者ではないかと思われる。P47に記載の海外人気インフルエンサー等の活用も効果的とは思いますが、本市の大使として委嘱している4名の方々へ先ず第1にこの役割を担ってもらいたいが、この点は市としてどのように考えるのか。今回の観光振興計画に記載し、一緒になって様々な場面で盛り上げる応援大使として連携・協力を得るべきではないか。また、もし記載をしないのであれば、市として今後4名の大使はどのような場面での活用を想定しているのかお伺いしたい。（正式に委嘱をお願いしている以上、4名の大使に対してもたいへん失礼にあたると思われる。）	P45	「だざいふ応援大使」の方々は、とくに国内プロモーションにおいて様々な場面でお力添えをいただきたいと考えております。イベントや講演会へのご出演や、パンフレットやその他紙・Web媒体での特集記事等への制作にご協力いただくなど、今後の事業において活用の検討を進めてまいります。その旨、本文中に追記いたしました。
	11 ～ P47	P45 ～ P47	基本戦略②の国内や国外の観光プロモーションに関し、太宰府市は、韓国や奈良市、中津市など友好都市・姉妹都市を締結している。近隣自治体との連携も必要であるが、これら遠方の都市と連携・協しつつ観光振興を図るとより効果的と考えるが、この点はどのように考えているのか。本計画に何ら記載が無いようであるが、数十年にわたり姉妹・友好都市であることから相互に観光振興等図ることにより連携が深くなり、効果的なプロモーションも図られると思うが、どのように考えているかお伺いしたい。（令和5年度の政庁まつりの際にも、実際に友好都市の中津市などが個別ブースを出展し、PRを図っていた実績がある。）	P59	友好都市・姉妹都市の自治体との交流は長年にわたり、継続的に実施していることであり、相互に観光振興を図っております。関係各課とも情報共有をしまして、より一層連携体制を活用していけるよう、検討を進めてまいります。プロモーションに限らず、様々な施策に関わることと判断しましたので、基本戦略4の基本施策3を「国内外自治体等との連携」としたうえで、追記いたしました。
	12	P49	基本戦略3に基本施策①につき、本文中に「～必ずしも利便性が「いい高い」ものではなく～」との記載があるが、「いい高い」との文言は重複しているように感じるが適切か確認をお願いしたい。	P49	記載誤りのため、文言を修正しました。
	13	P51	本計画中の全体的に、観光MaaSやDMO、KPI、など横文字が並ぶが、読み手にとっては馴染みが薄い言葉であることも多いため、本文中に注釈や説明文を記載するなど配慮をする方がよいと思われる。	巻末	巻末資料に文言解説を追加いたしました。
2	14		梅ヶ枝もち どこでも150円はやめましょう。		いただいたご意見に関しましては、関係組織に情報共有いたします。

受付	意見 番号	素案該当 ページ	ご意見等	計画該当 ページ	ご意見への対応、回答
3	15	22	<p>平成18年12月13日に観光立国推進基本法が成立し、観光を21世紀の日本の重要政策の柱として位置づけされた。観光立国の実現に関する施策の基本理念として、地域における創意工夫を生かした主体的な取組みを尊重しつつ、地域の住民が誇りと愛着をもつことのできる活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行を促進することが、将来にわたる豊かな国民生活の実現のため特に重要であるという認識の下に施策を講ずべきこと等定めています。政府は、観光立国の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、「観光立国推進基本計画」を定めることとしています。国は、基本施策として、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成、観光産業の国際競争力の強化及び観光の振興に寄与する人材の育成、国際観光の振興、観光旅行の促進のための環境の整備に必要な施策を講ずることとしています。</p> <p>令和5年3月31日付けでもって、「観光立国推進基本計画」が閣議決定された。人口が減り、少子高齢化が進む中、交流人口・関係人口の拡大は地域の活力の維持・発展に不可欠である。我が国には、国内外の観光旅行者を魅了する素晴らしい「自然、気候、文化、食」が揃っており、新型コロナウィルス感染症によってもこれらの魅力は失われていない。ウィズコロナ・ポストコロナにおいても、観光を通じた国内外との交流人口拡大の重要性に変わりなく、観光は今後とも成長戦略の柱地域活性化の切り札である。</p> <p>第3章 計画の目指す姿</p> <p>この計画を具現化していくにあたり、事業費、つまり予算額が計上されていない。予算措置もなされていないのに実現性が乏しいと思います。例えば、令和5年度予算額、観光費123,798千円、中身を見てみると、観光宣伝費5,182千円、観光事業推進費34,684千円、観光施設整備費39,043千円、太宰府館管理運営費44,889千円となっている。</p> <p>この中で観光宣伝費等補助金は、2,000千円しかなく、太宰府館管理運営費44,889千円の内、25,000千円を観光宣伝費等補助金に充当し、不足分は、文化芸術振興費、災害時の被災者支援施設として、災害対策関係費に計上すればいいのではないかと考える。「令和の万葉大茶会太宰府大会実行委員会負担金」14,260千円、負担金の懸け過ぎである。この令和5年度予算に計上されている予算額では、何も出来ないと思います。</p>		<p>本計画を実現していくうえで、アフターコロナの社会情勢に乗って、特にコロナ禍で十分な実施ができなかった国内外プロモーションについては、今後戦略的に実施していく必要があると考えます。貴重なご指摘として受け止め、次年度以降の事業に向けて検討を進めてまいります。</p>
	16		<p>「第二次太宰府市観光推進基本計画」（素案）の中で、調査結果のアンケートの数字を下に、EBPM（Evidence Based Policy Making）「証拠に基づく政策立案」でもってPDCAサイクルによる解析がなされた政策立案がなされていない。何の目的のためにアンケートを徴取されたのか理解に苦しむ。</p>	P12 ～ P21	<p>P12～P15に記載している「太宰府市観光推進基本計画」および「太宰府市観光推進基本計画（追加変更）」の振り返り及びP16～21の各種調査の分析結果をもとに、第3章に続く施策立案をしております。</p>
	17		<p>現在、太宰府市には、連日、観光客が溢れておりますが、20・30年先を見越した先見性に基づく、令和6年度から令和10年度までの「第2次太宰府市観光推進基本計画」の策定の議論が「太宰府市観光推進基本計画策定協議会会議」では無く、目先の議論ばかりであった。これでは、「太宰府観光の推進」ができるのか疑問を呈する。</p>		<p>観光施策に関しては、政治・経済などの社会情勢や技術革新などの影響を大いに受けるものであるといえ、実際に新型コロナウィルスの流行等により現観光推進基本計画は変更計画を追加する必要に迫られました。そういった意味では、計画年度にあたるこの先5年を具体的に見据えて、出来得ることを検討しているところでございます。</p> <p>一方で、地球規模での課題であるサステナビリティであったり、誰もが観光を楽しむことができる観光のユニバーサルデザイン化、本市が持つ不変的な魅力である歴史・文化資源については、長期的な視点に立って検討すべき問題もあると考えます。</p> <p>ご指摘いただきましたことについては、今後施策を進めていく中でも大切な視点であると考えますので、長期的な視点からの検討も進めてまいります。</p>

受付	意見 番号	素案該当 ページ	ご意見等	計画該当 ページ	ご意見への対応、回答
3	18		<p>西九州新幹線が長崎まで九州新幹線の鳥栖、或いは久留米から直通運転が可能となつた時、観光客は、長崎、熊本、鹿児島方面に流れていくものと考察いたします。長崎、熊本、鹿児島は、温泉地を抱えております。福岡には名の知れ渡つた温泉はありません。また、太宰府は、九州新幹線の路線から離れております。</p> <p>昨年、2月18日博多駅大屋根広場にてJR九州と長崎県共同事業「新幹線で世界へ！?NAGASAKI」という趣旨の「GO!GO!NAGASAKI」長崎県PRイベントを開催して、「長崎のじゃ踊り」を披露、長崎県の観光施設やグルメを楽しめるチケットになつたおトクな切符を発売し、切符の予約は特設サイトを設けている。</p> <p>今月17・18日、MBC南日本放送主催、特別協賛、JR西日本、協賛、第一交通岩崎産業他、「MBC春のグルメフェスタ」が鹿児島中央駅前広場で開催されております。JR西日本新幹線沿線のグルメ、魅力あるコンテンツ、鹿児島のグルメ、観光施設の紹介がっております。また、会場の様子をMBC南日本放送がテレビ中継して流しておりました。他県は、このように大々的なプロモーション活動を行っておりますが、「令和発祥の地、歴史とみどり豊かな文化のまち」太宰府は一向に先行きが見えてきません。</p> <p>太宰府が持つポテンシャルを活かせるようなイノベーションを図る必要があるのではないのでしょうか。「歴史的資源を中核とした地域資源の潜在価値を一体的に活用する観光・地域経営の実現」を目指すことではないのでしょうか。</p> <p>インバウンドの回復戦略として、戦略的な訪日プロモーションを推進することではないのでしょうか。国土交通省観光庁等・県とも連携をとることではないのでしょうか。</p> <p>太宰府の文化資源の観光資源としての魅力の向上を図り、つまり、訪日外国人が、太宰府の「財」である文化財の魅力をも十分に感じられるよう、文化財の適切な整備、美しい状態に維持していくことも必要ではないのでしょうか。</p>		<p>観光プロモーションに関しては、市単独の事業だけでなく、福岡県や九州といった広域連携を中心に、西鉄沿線自治体との共同プロモーションなど、様々な連携によって実施しております。それにより、本市単独では訴求できない客層への周知、誘客につながると考えております。令和6年4月からは「福岡・大分 destinations キャンペーン」も始まり、そちらに向けての共同プロモーションも実施予定です。</p> <p>また、P51やP54に記載のあります観光MaaSなどにより、交通機関と観光商品がひとつになったチケット販売等も検討を進めております。</p> <p>いただいたご意見をもとに、関係部署と情報共有・連携をしながら検討を進めてまいります。</p>
4	19		<p>障がい者用トイレの便座が高すぎます。足がつきにくいです。</p>		<p>基本戦略3の基本施策③ユニバーサルツーリズムへの対応において、誰もが安心して快適に観光を楽しめる観光地づくりを目指しているところです。いただいたご意見は施設を持つ関係各所へ情報共有いたしまして、調査検討を進めてまいります。</p>